



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社ストライダーズ  
 コード番号 9816  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 URL <https://www.striders.co.jp/>  
 (氏名) 早川 良太郎  
 (氏名) 前原 宏信 TEL 03(6910)8390

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,805	2.2	△20	—	31	33.1	13	388.0
2024年3月期第3四半期	5,679	2.8	△10	—	23	△85.9	2	△96.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 16百万円( 1.3%) 2024年3月期第3四半期 16百万円( △78.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	1.60	—
2024年3月期第3四半期	0.32	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	5,154	2,433	47.2	299.43
2024年3月期	4,629	2,540	54.3	304.72

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,431百万円 2024年3月期 2,514百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	0.3	100	101.2	140	37.6	100	21.2	12.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	8,912,089株	2024年3月期	8,912,089株
2025年3月期3Q	790,499株	2024年3月期	660,359株
2025年3月期3Q	8,197,051株	2024年3月期3Q	8,352,577株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調を維持しつつある一方、資源・エネルギー価格の高騰や物価上昇、米国の利上げ継続による世界的な景気減速、金融資本市場の変動等により、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）では、日本とアジアを繋ぐゲートウェイとしての役割を担い、こうした足元のマクロ経済環境に注視しつつ、中間期より継続して変化に対応できる会社体制の再構築を行ってまいりました。不動産、ホテル、投資の三事業を主軸に、不動産事業では子会社であるトラストアドバイザーズとの本社オフィス統合に伴う管理部門の連携強化や業務効率化を実施。ホテル事業においては物価高に伴うコスト構造の変化に対応すべく、コスト及び業務プロセスの見直し、また、新たな収益機会獲得の為の営業強化や地域企業との連携を深めており、投資事業ではシンガポールでのファンド立上げに向けた準備を進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高5,805百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失20百万円（前年同期は営業損失10百万円）、経常利益31百万円（前年同期比33.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円（前年同期比388.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、マンションオーナー向けのリーシング・賃貸管理及びマンション建物の受託管理を行なうレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を、株式会社東京アパートメント保証において家賃保証事業を営んでおります。

レジデンス事業は、前年同期比でサブリース賃貸借契約の賃料水準は上昇傾向にあり、また空室率も低水準を維持しましたが、管理戸数が減少したことで、売上高は前年同期比で減少いたしました。これに加え、本社とのオフィス統合に伴う一時費用が営業利益を圧迫し、減収減益という結果になりました。

他方で、レジデンス事業の周辺サービスである家賃保証事業の事業規模の拡大及び収益性の安定化に伴い、前年同期比で増収増益となり、不動産事業の新たな柱になりつつあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は、レジデンス事業および不動産売買事業の減収により4,708百万円（前年同期比2.8%増）となり、同じく営業利益も138百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

#### ② ホテル事業

ホテル事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。

成田ゲートウェイホテルは、周辺ホテルとの競争から国内外の団体顧客の取込み営業を強化したことに加え、秋の行楽シーズンも伴い、客室稼働率及び客室平均単価が上昇した結果、2023年6月に新型コロナウイルス感染症の療養者施設から通常営業へ移行した後の立ち上がり期間であった前年同期と比べ、売上高は増加いたしました。一方で、営業利益については、委託運営から自社運営への切り替えの過程で、未だ収益性改善の余地が残されていること、昨今の物価高に起因した業務委託費・人件費・動力光熱費等の高騰及び今期実施した金融機関からの資金調達に関わる一時費用の増加により、前年同期と比べて減益となりました。

一方、倉敷ロイヤルアートホテルは客室稼働率が上昇、客室平均単価と近隣他社動向を観察し価格を下げ稼働確保に転換した結果、売上高は前年同期比で増加となりました。営業利益については料飲宴会の利用低下、昨今の物価高に起因した動力光熱費等の高騰、設備入替等を実施、コスト構造の変革に注力したものの、前年同期比でマイナスとなりました。両ホテルの業績を合わせた結果、売上高は伸長したものの販管費の増加を主要因として、セグメント全体では増収減益となり、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は866百万円（前年同期比11.6%増）、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

③ 投資事業

当社グループの投資事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において国内投資事業を、STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. において海外投資事業を営んでおります。

STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. においては、シンガポールを拠点にこれまでの投資を基盤としたファンド組成を進行させております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の投資事業の売上高は計上されておりません（前年同期は売上高28百万円）。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ493百万円増加しました。これは主に現金及び預金が168百万円減少した一方で、短期貸付金が646百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。これは主に建物及び構築物(純額)が10百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ525百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は918百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が156百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は1,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ817百万円増加しました。これは主に長期借入金が853百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ632百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円を計上した一方で、剰余金の配当40百万円を実施したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、47.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,108,737	1,940,718
売掛金	211,919	141,585
有価証券	130	157
営業投資有価証券	191,384	245,908
棚卸資産	25,895	59,761
短期貸付金	12,000	658,000
その他	163,926	160,418
貸倒引当金	△4,930	△3,969
流動資産合計	2,709,063	3,202,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	875,103	885,778
土地	515,733	515,733
その他（純額）	77,100	84,625
有形固定資産合計	1,467,937	1,486,137
無形固定資産		
のれん	83,252	77,160
その他	8,054	19,933
無形固定資産合計	91,306	97,094
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
関係会社株式	56,511	53,537
長期貸付金	100,000	100,000
繰延税金資産	28,728	23,678
その他	169,869	187,092
貸倒引当金	△3,827	△5,339
投資その他の資産合計	361,282	368,967
固定資産合計	1,920,527	1,952,199
資産合計	4,629,590	5,154,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,690	56,518
短期借入金	3,340	—
1年内償還予定の社債	40,000	—
1年内返済予定の長期借入金	372,025	215,052
未払費用	86,919	101,401
契約負債	245,055	255,113
未払金	75,086	66,170
未払法人税等	8,135	25,972
賞与引当金	25,500	12,218
預り金	108,008	98,080
金利スワップ	690	—
その他	54,719	87,524
流動負債合計	1,102,171	918,051
固定負債		
長期借入金	660,308	1,513,428
退職給付に係る負債	11,918	—
長期預り敷金保証金	130,785	112,596
繰延税金負債	142,065	137,798
その他	41,490	39,752
固定負債合計	986,567	1,803,575
負債合計	2,088,739	2,721,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585,938	1,585,938
資本剰余金	109,730	109,730
利益剰余金	996,308	939,518
自己株式	△196,453	△222,852
株主資本合計	2,495,524	2,412,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△415	—
繰延ヘッジ損益	△690	—
為替換算調整勘定	20,061	19,519
その他の包括利益累計額合計	18,955	19,519
新株予約権	1,200	1,200
非支配株主持分	25,170	98
純資産合計	2,540,850	2,433,153
負債純資産合計	4,629,590	5,154,780

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,679,631	5,805,019
売上原価	4,310,420	4,314,956
売上総利益	1,369,211	1,490,062
販売費及び一般管理費	1,379,581	1,510,310
営業損失(△)	△10,370	△20,248
営業外収益		
受取利息	370	6,148
受取配当金	1	—
受取手数料	27,760	38,117
為替差益	3,759	12,139
持分法による投資利益	6,363	3,360
その他	10,957	6,190
営業外収益合計	49,212	65,956
営業外費用		
支払利息	9,221	9,709
社債利息	1,005	59
貸倒引当金繰入額	3,125	—
リース解約損	—	3,500
その他	1,898	1,047
営業外費用合計	15,249	14,316
経常利益	23,592	31,391
特別利益		
関係会社株式売却益	—	18,265
固定資産売却益	212	—
特別利益合計	212	18,265
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	74	86
特別損失合計	74	86
税金等調整前四半期純利益	23,730	49,571
法人税、住民税及び事業税	25,536	37,453
法人税等調整額	△4,954	△4,197
法人税等合計	20,582	33,255
四半期純利益	3,147	16,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	464	3,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,682	13,091

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,147	16,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,116	—
繰延ヘッジ損益	2,261	690
為替換算調整勘定	3,551	△541
持分法適用会社に対する持分相当額	△418	415
その他の包括利益合計	13,510	564
四半期包括利益	16,658	16,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,193	13,655
非支配株主に係る四半期包括利益	464	3,224

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,090,240	774,733	28,993	1,893,967	314,988	2,208,956	—	2,208,956
その他の収益(注)4	3,470,675	—	—	3,470,675	—	3,470,675	—	3,470,675
外部顧客への売上高	4,560,916	774,733	28,993	5,364,643	314,988	5,679,631	—	5,679,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,370	1,783	—	19,153	—	19,153	△19,153	—
計	4,578,286	776,517	28,993	5,383,797	314,988	5,698,785	△19,153	5,679,631
セグメント利益又は損失(△)	138,099	△5,405	10,944	143,639	7,780	151,420	△161,790	△10,370

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、I T関連事業、食品関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,790千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,346,401	865,211	—	2,211,613	231,552	2,443,166	—	2,443,166
その他の収益(注)4	3,361,853	—	—	3,361,853	—	3,361,853	—	3,361,853
外部顧客への売上高	4,708,254	865,211	—	5,573,466	231,552	5,805,019	—	5,805,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,277	—	1,277	—	1,277	△1,277	—
計	4,708,254	866,489	—	5,574,744	231,552	5,806,297	△1,277	5,805,019
セグメント利益又は損失(△)	138,032	△29,889	△19,224	88,918	28,837	117,755	△138,003	△20,248

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、I T関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△138,003千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれています。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	76,179千円	91,577千円
のれんの償却額	6,091	6,091

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

## (重要な後発事象)

## (連結子会社の吸収合併)

当社は、2025年2月10日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社グローバルホールディングスを吸収合併（以下、本合併）することを決議し、本合併に係る合併契約を締結いたしました。

## 1. 本合併の目的

株式会社グローバルホールディングスの主たる事業は、これまでホテル資産の保有・管理でありましたが、当社子会社である成田ゲートウェイホテル株式会社へホテル資産を売却したため、事業運営の効率化を目的に同社を吸収合併することといたしました。

## 2. 本合併の要旨

## (1) 合併の日程

合併契約承認の取締役会決議日	2025年2月10日
合併契約締結	2025年2月10日
合併予定日（効力発生日）	2025年3月31日

（注）本合併は、当社においては会社法第796条第2項の規程に基づく簡易合併であり、株式会社グローバルホールディングスにおいては会社法第784条1項の規定に基づく略式合併であるため、いずれも合併契約承認の株主総会は開催いたしません。

## (2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社グローバルホールディングスは解散いたします。

## (3) 本合併に係る割当ての内容

完全子会社の吸収合併であるため、本合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。

## (4) 本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## 3. 今後の見通し

本合併は完全子会社との合併であり、当社連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。